



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成十年二月～三月)

○技術士資格および受験要領
など説明会
主 催 北農会農業技術コンサル
ティンクセンター
と き 平成10年2月6日
テ ー マ 「最近における農業部門
の分野別出題傾向と受験
対策」
分担講義 富田 義昭(当研究所・
常務理事)

○第七回系統肥料技術研修会
主 催 北海道土づくり肥料・資
材推進協議会

と き 平成10年2月23日
テ ー マ 「土づくりアンケートの
作成および集約につて
し」
講演者 斉藤 勝雄(当研究所・
専任研究員)

○農業者研修(月形)
主 催 マルタイ興産(株)
と き 平成10年2月25日
テ ー マ 「これからの農業経営の
考え方」
講演者 七戸 長生(当研究所・
所長)

○平成九年度農業研究センター
農業計画セミナー
主 催 農業研究センター・
日本農村生活学会
と き 平成10年3月10日
テ ー マ 「農村生活研究の今後の
重点課題」
話題提供者 七戸 長生(当研究
所・所長)

と き 平成10年3月12日
主 催 道立上川農業試験場
と き 平成10年3月12日

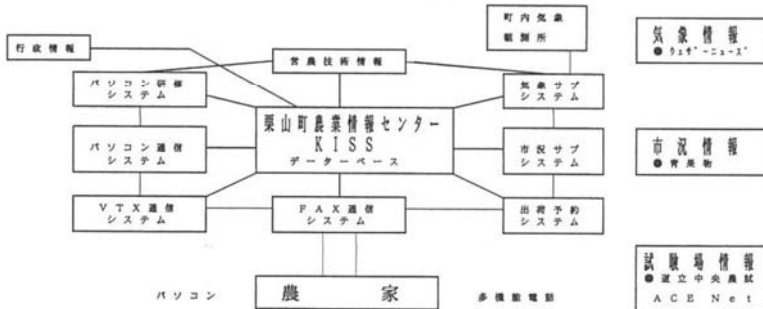
テ ー マ 「北海道における野菜の
生産・流通の現状と将来
展望」
講演者 富田 義昭(当研究所・
常務理事)

○三石町農村女性研修会
主 催 三石町・J A三石町女性
部
と き 平成10年3月20日
テ ー マ 「農と食の共生、農村女性
の役割」
講演者 富田 義昭(当研究所・
常務理事)

○営農推進研修会
主 催 美瑛町農業協同組合
と き 平成10年3月24日
テ ー マ 「畑作複合経営における
野菜の産地づくり」
講演者 富田 義昭(当研究所・
常務理事)

お知らせ
北海道地域農業研究所
平成十年度通常総会
日時 平成十年五月二十八日午後三時
場所 共済ビル八階「飛鳥の間」
(札幌市中央区北四条西一丁目)

図1-1 栗山町農業情報センターのシステム図



本文52頁、参照
あのマチ、このムラ地域おこし
活躍中「栗山町の事例」

表4 平成8年度栗山町農業情報センターアクセス件数

	気象情報	営農情報	生活情報	流通情報	農業関係 機関情報	月 計
1月	277	13	145	163	27	625
2月	185	6	160	133	39	523
3月	346	10	110	34	40	540
4月	1,825	32	362	83	27	2,329
5月	5,433	32	320	56	62	5,903
6月	1,889	18	227	584	62	2,780
7月	2,209	23	185	4,504	45	6,966
8月	2,208	13	165	4,356	19	6,761
9月	1,616	10	141	2,880	13	4,660
10月	1,120	14	181	1,933	47	3,295
11月	885	9	102	863	35	1,894
12月	351	13	94	261	24	743
年 計	18,344	193	2,192	15,850	440	37,019

出所：JAくりやま 佐々木禎センター長「農家の友」'97年11月号から

本文52頁、参照
あのマチ、このムラ地域おこし
活躍中「栗山町の事例」

編集後記

今年も我が家に「再訪問鳥」がやってきた。毎年雪祭りが終わった頃にやってくる。窓辺に作った餌台を自分のテリトリーと決めて、近づくとあらゆる鳥を蹴散らして4月上旬まで居座る。鳥類図鑑で調べると「シメ」と言う渡り鳥である。顔は隈取りをした芝居の役者みたいであまりかわいくない。それどころか我が家の窓ガラスに1日何百遍もぶつかってくる。たぶん自分の姿が敵に思えるのだろう。
馬鹿な鳥だと思ったが、とたんに英語で「類は友を呼ぶ」と言う諺が「同じ色の鳥が集まる」と言うのを思い出して、何で我が家を選んだか納得した。

この号が皆さんのお手元に到着する頃には、それぞれの善作業が始まっていることだろう。今年は北海道農業にとつてどんな年になるのだろうか。価格、余剰問題はともかく豊作を願って共に1年の作業に取りかかりたい。
雪の季節は終わったはずなのに窓の外は牡丹雪が舞っている。ふわふわといかにもはかなく、地面に落ちてすぐ溶けてしまいうそである。
雪は多くの空気を取り込んで、白く軽いものとなすけるが、氷が水に浮くのがなんとしても解せない。高校で習った物理の知識では気体、液体、個体の順に分子密度が高くなって質量が増すはずなのに、どうして水は違うのだろうか。

しかし、そのおかげで多くの生物が結氷した池や湖の下で越冬でき命を長らえている。
最も重い4℃が細菌の繁殖の限界温度だと言ったことも、確か酪農家の必需品となったハルクーラーの設計者から聞いたことがある。湖の底で越冬中に体中力じたらけもかなわないだろう。私達の知らない自然の摂理の中で生命が時を刻んでいる。



(K・S)

DATA FILE

関連事項 / DATA

ホクレン農業協同組合連合会
〒060-8651 札幌市中央区
北4条西1丁目

☎011(231)2111

北海道東海大学国際文化部
〒005-0827 札幌市南央南沢
5-1

☎011(571)5111

財団法人広島県農業開発公社
〒722-1304 御調郡久井町大字
江木字中ノ坪1204-1

☎0847(32)7780

北海道女子短期大学
〒060-0833 江別市文京台23

☎011(386)8011

北海道拓殖短期大学
〒074-0015 深川市メム4558

☎0462(3)4111

栗山町役場
〒069-1512 夕張郡栗山町
松風3丁目252

☎01237(2)1111

JAくりやま
〒069-1511 夕張郡栗山町
中央3丁目104

☎01237(2)1313